**エネルギー使用量調査票　記入マニュアル**

1. 調査対象ビル

ビル実態調査等により当方で把握しているビル全数を対象に調査させていただきます。なお、全館自社ビル、商業専用ビル、賃貸マンションビル、企業の福利厚生施設は回答不要です。また、当方で把握しているビル以外に、事務所用途を有するオフィスビル（複合用途ビルを含む）がございましたら、合わせてご回答いただければ幸いです。

1. 調査票の記入方法
2. 様式Ａ

ご担当者名を記載いただく票です。同一のご担当者にて複数ビルをご回答いただく場合、様式Ａを表紙にして、各ビルの調査票をまとめてお送りいただいて構いません。

1. 様式Ｂ
   * 1. 建物の概要を記載いただく票です。ビル実態調査でご回答いただいたビルにつきましては、ビル名、面積などの基礎データがあらかじめ赤字印刷されておりますので、赤字箇所を適宜ご修正の上、空欄部分をご記入ください。
     2. また、これとは別に、全てが空欄となっているフォームが同封されておりますので、上記①のビル以外に、事務所用途を有するオフィスビル（複合用途ビルを含む）がございましたら、そのビルの建物概要をご記入いただき、合わせてそのビルのエネルギー使用量実績につきまして、様式Ｃ－１または様式Ｃ－２、様式Ｄにてご回答ください。
2. 様式Ｃ－１
   * 1. 空調エネルギーを検針値レベルで専用部と共用部に区分できる場合（個別空調ビル等）にご記入いただくフォームです。専用部と共用部に区分できない場合（セントラル空調ビル等）は、様式Ｃ－２にご記入ください。
     2. 電力（単位：kWh）、都市ガス（単位：㎥）、Ａ重油（単位：L）、地域熱源（単位：MJ）それぞれについて、ビル総計、専用部、共用部ごとにご記入ください。電力につきましては、昼間と夜間それぞれの記入欄がありますが、昼間、夜間の区分がない契約をされている場合は、昼間の欄にご記入ください。
     3. また、エネルギー全体の増減をご確認いただくため、票に記載されている換算レートにて、上記検針値からMJ値への換算をお願いいたします。なお、当連合会のホームページ（www.jboma.or.jp）にアップされている書式ファイルでは、検針値をご入力いただくと、MJ値に自動計算されますので、ご利用ください。
     4. 2016（平成28）年度のビル総計のエネルギー使用量が、前年度に対して３％以上増加または減少している場合、様式Ｄにその理由をご記入ください。
     5. 昨年実施した調査でご回答いただいたビルにつきましては、2014（平成26）年度と2015（平成27）年度の欄に、ご回答いただいた数値が印刷されておりますが、昨年ご回答いただいていないビルにつきましては空欄となっておりますので、こちらにもご記入いただきますようお願いいたします。
3. 様式Ｃ－２
   * 1. 空調エネルギーを検針値レベルでは専用部と共用部に区分できない場合（セントラル空調ビル等）にご記入いただくフォームです。専用部と共用部に区分できる場合は、様式Ｃ－１にご記入ください。
     2. 面積の記入欄は、事務所単一用途の場合、複合用途の場合でそれぞれ別の欄になります。複合用途の場合には、事務所以外（ホテル・住宅・商業等）の延床面積を除いた事務所用途部分だけの延床面積、及びその事務所用途部分の延床面積の専用部・共用部内訳を記入いただくようになっております。
     3. 重油換算値（単位：キロリットル）にて、ビル総計、専用部、共用部ごとにご記入ください。単位はkL（キロリットル）とさせていただいておりますので、ご注意ください。たとえば、お手元で管理されている数値の単位がリットルの場合、1/1000に換算しご記入ください。
     4. なお、エネルギー使用量を重油換算値で把握されていない場合は、様式Ｃ－１にてご回答ください。
     5. 2016（平成28）年度のビル総計のエネルギー使用量が、前年度に対して３％以上増加または減少している場合、様式Ｄにその理由をご記入ください。
     6. 昨年実施した調査でご回答いただいたビルにつきましては、2014（平成26）年度と2015（平成27）年度の欄に、ご回答いただいた数値が印刷されておりますが、昨年ご回答いただいていないビルにつきましては空欄となっておりますので、こちらにもご記入いただきますようお願いいたします。
4. 様式Ｄ
   * 1. 2016（平成28）年度のビル総計のエネルギー使用量が、前年度に対して３％以上増加または減少している場合、その理由をご記入いただくフォームです。
     2. 選択方式になっている欄は、該当箇所に○をご記入ください。また、選択方式の欄に該当する理由がない場合は、「その他」の自由記入欄にご記載ください。
5. ご注意事項
6. ビル総計の電力・ガス等の検針値について

電力、ガス会社等からビル所有者に請求された使用量をご記入ください。電力、ガス会社等からテナントに直接請求される分（店舗のガス使用量等）は含めなくて結構です。また、電力（夜間）の数値がご不明の場合、すべて電力（昼間）の欄にご記入ください。

1. 専用部（貸室部分）の検針値について

テナント課金メーター等によるテナント使用量合計をご記入ください。その値がご不明の場合は、ビル総計の使用量を貴社にとって合理的な方法で、専用部と共用部に按分してください。

（例）専用部使用量(a)＝ビル総計使用量×貸室面積÷延床面積

　　　共用部使用量＝ビル総計使用量－専用部使用量(a)

以上